

臨床試験概要

びまん性内在性橋グリオーマ（DIPG）患者・家族に対する、ICT支援による多職種コミュニケーション促進の実装可能性と有用性を評価する多施設共同実装研究（DIPG-2023付随研究：DIPG-2023ICT）

1. 研究代表者(氏名、施設)

鈴木智成、埼玉医科大学国際医療センター

2. 研究事務局(氏名、施設)

新妻秀剛、東北大学病院

千葉 謙太郎、東京女子医科大学

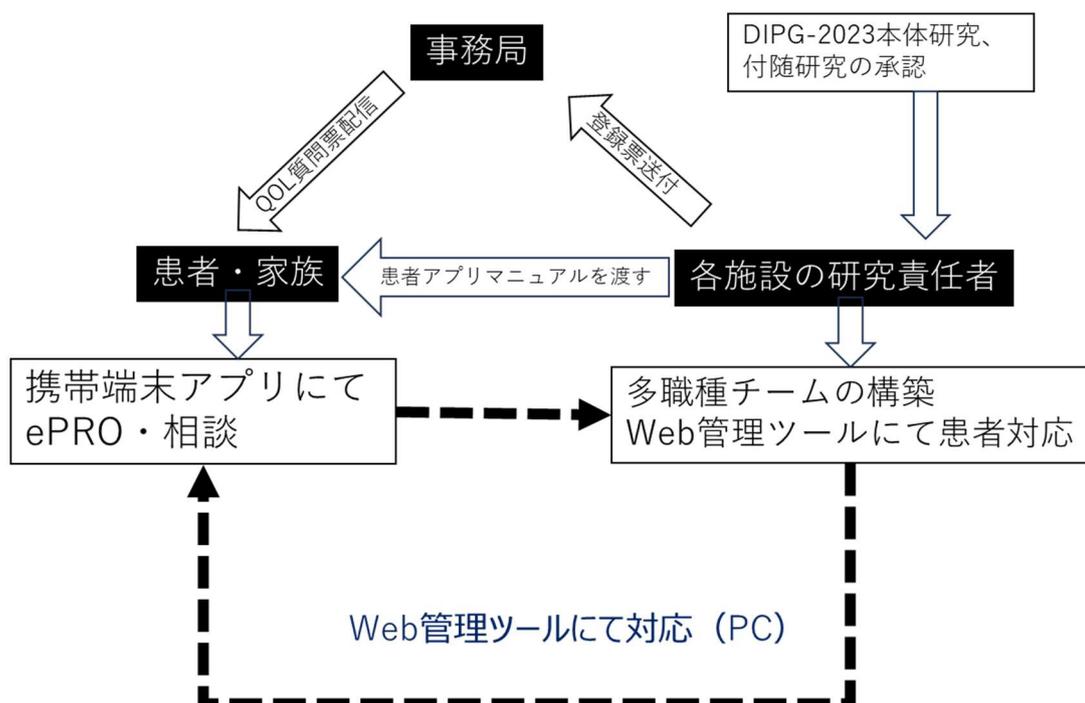
3. 目的

DIPG患者と多職種医療者のICTツールを通じた情報共有体制の実装可能性、有用性を多施設において評価することであり、DIPGにおける支援モデルの一助となる知見を得ることです。

4. 対象

「びまん性内在性橋グリオーマ（DIPG）のレジストリ構築および緩和ケアの実態解明を目的とした多施設共同前方視的観察研究:JCCG DIPG-2023」に登録され、本研究に同意した患者。

5. シェーマ



6. 予定登録数と研究期間

予定登録数：30例

登録期間：2年

観察期間：2年

総研究期間 4年

7. 問い合わせ先

埼玉医科大学国際医療センター 鈴木智成 042-984-4111